

資料番号	2
------	---

令和6年5月17日
 課名 商工労働局イノベーション推進チーム
 担当者 担当課長 門永
 内線 3354



令和5年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクトにおける取組状況について

1 要旨

令和4年3月から開始した「ひろしまユニコーン10」プロジェクト（以下、「本プロジェクト」という。）の昨年度の主な取組について報告する。

2 「ひろしまユニコーン10」プロジェクトの体制

区分	内容	担当
重点領域	DX領域（ひろしまサンドボックス）	地域産業デジタル化推進担当
重点分野	環境・エネルギー/カーボンリサイクル分野	環境エネルギー産業集積促進担当
	健康・医療関連分野	医工連携推進担当
その他一般	ビジネス環境を整えるための支援	イノベーション環境整備担当 他

3 令和5年度の主な取組について

(1) 企業のニーズや成長段階に沿ったアクセラレーションプログラムの提供

○「ひろしまユニコーン10」スタートアップアクセラレーション（R5.9～R6.3）

広島から急成長を志すスタートアップ企業等を対象としたアクセラレーションプログラムにより、採択企業16社を7か月間個社ごとに伴走支援し、4回のプレゼンテーションイベント（ベンチャーキャピタル（以下、「VC」という。）や事業会社に向けたピッチイベント及び成果発表会）を開催することで、イベントに参加した延べ371名のVCや事業会社等に、本プロジェクトの活動及び広島から挑戦する企業の取組について情報発信し、本プロジェクトを中心としたエコシステムの形成と拡大を図った。

開催日/イベント名	場所	参加者
令和5年11月14日（火）/VCマッチング	東京都	39名
令和6年1月25日（木）/オープンイノベーションピッチ	広島市	119名
令和6年2月14日（水）/VCマッチング	東京都	29名
令和6年3月21日（木）/成果発表会（知事参加）	広島市	184名
合計		371名

○「Hiroshima Global Connection」（R5.7～R6.3）

国の財源をもとに、スタートアップ・エコシステム拠点都市の強化を目的として、JETRO 広島と本県が協力した海外展開支援プログラムにより、県内企業に対して英語ピッチ資料のブラッシュアップ・個社メンタリング・シリコンバレーへの派遣などを通じて企業の海外展開戦略の策定、海外とのネットワーキングの機会を提供した。

提供プログラム	参加企業数
ハンズオン支援	4社（全て県内企業）
シリコンバレーへの派遣	5社（うち県内企業3社）

(2) 県内外に対する本プロジェクトの情報発信

○メディア掲載を通じた認知拡大

本プロジェクトの活動やイベント等について、メディアへの資料提供などを通じて周知した結果、新聞やTVなどに17回取り上げられた。

掲載日	媒体	記事タイトル
R5. 4. 6	広島経済レポート	10年で時価総額10億ドル10社 海外展開視野に育成へ（巻頭特集ひろしまユニコーン10）
R5. 4. 26	ASCII STARTUP	広島からユニコーン創出へ グローバル目指すスタートアップ5社の実証実験の成果
R5. 6. 1	コロンブス	ユニコーン10社創出に向けたプロジェクトを推進!!
R5. 8. 25	日本経済新聞	広島県、新興など16社支援 医療や脱炭素 広島大発ゲーム開発も
R5. 8. 31	広島経済レポート	ひろしまユニコーン10伴走支援、16社を採択
R5. 9. 8	中国新聞	成長企業支援 広島県が16社選定
R5. 9. 14	広島経済レポート	挑戦の着火剤（ユニコーン10キックオフ）
R5. 10. 6	中国新聞	起業促進の必要性を理解 広島で地域活性化シンポ
R5. 10. 14	日本経済新聞	広島、ユニコーン育成 知事が創出先導 10社目標
R5. 11. 6	Voicel2月号	産官学でスタートアップを支える
R5. 11. 29	NHK 広島放送局 （番組名：お好みワイドひろしま）	ユニコーン10プロジェクト紹介 採択企業紹介（トロムソ・CIA）
R5. 12. 20	NHK（全国） （番組名：おはよう日本「おはBiz」）	ユニコーン10プロジェクト紹介 採択企業紹介（トロムソ）
R6. 1. 11	広島経済レポート	竜とユニコーン（事業会社マッチング）
R6. 1. 26	テレビ新広島	ユニコーン10事業会社マッチング紹介
R6. 2. 9	広島ホームテレビ （番組名：ピタニュー）	目指せユニコーン企業！世界で活躍「トロムソ」
R6. 3. 22	広島ホームテレビ （番組名：昼前ニュース）	成果発表会
R6. 3. 24	テレビ新広島 （昼前ニュース枠）	成果発表会

4 令和5年度予算

- ・「ひろしまユニコーン10」スタートアップアクセラレーション（59,332千円）
- ・「Hiroshima Global Connection」（JETRO 広島の財源で実施）

5 今後の取組の方向性

引き続き、企業のニーズや成長段階に沿ったアクセラレーションプログラムの開催や、県内各地で本プロジェクトに関連するイベントを開催するなどにより、挑戦心を持った企業の掘り起こし、広島でビジネスしやすい環境整備に努めていく。

また、「広島イノベーションベース」などのスタートアップ支援団体との連携を強化し、広島県のスタートアップ企業等を県内外に周知していくことで、挑戦する企業の後押しを行っていく。